

『国際政治』207号 「ラテンアメリカ内政と国際関係の再検証」(仮題)

「失われた10年」とも称される1980年代の経済的停滞ののち、グローバル経済とのつながりを深めたラテンアメリカは、21世紀に入って著しい経済成長を遂げた。しかしながら、ラテンアメリカには取り組むべき問題が未だに数多く存在する。経済成長は貧困を完全に根絶するには至らず、逆に成長優先の開発政策に伴う自然や住環境の破壊によって生活を脅かされる人は後を絶たない。また、政治に目を向ければ、「失われた10年」と同時期に進行した民主化の流れは一部の国で潰え、民主主義の質の低下や非民主体制への転落を経験した国が複数出現した。そして、こうしたラテンアメリカ域内の政治経済の動きは、ラテンアメリカの国際関係において長らく中心的な存在であった米国および米国の影響力が強い国際組織のみならず、中国やロシア、EUなど西半球の外側にある (extra-hemispheric) アクターに関わることも多く、その全体像は捉えがたいものとなっている。さらには、国内における政治的・経済的苦境から逃れる人の流れはそれを受け入れる社会の政治経済のあり方に影響を及ぼすとともに、麻薬カルテルやギャング組織といった国境を超えたネットワークを持つ非国家的アクターに人的資源を供給している。

こうした複雑かつ多様に広がる一連の問題に対し、研究者は多様な分析視角やツールを発展させてきた。地道なケーススタディや、ラテンアメリカ研究が得意としてきた域内での比較研究はもちろんのこと、近年ではクロスナショナルなデータセットの整備や、洗練された手法に基づくサーベイが爆発的に普及し、ラテンアメリカ域外の国や地域との比較が容易になった。アーカイブの公開を受けた歴史研究の発展や、人類学的な現地調査の蓄積にも目を見張るものがある。

2002年にラテンアメリカ政治が『国際政治』にて特集されてから20年近くが経過しようとしている今、こうした先行研究の蓄積を踏まえ、ラテンアメリカにまつわる内政や国際関係に関する最新の知見を示す論文を集めることで、日本における研究の到達点を示すことが本号の目的である。ラテンアメリカに属する国や人々だけを扱う論文に限らず、ラテンアメリカ域外とのつながりや比較に関する次のようなテーマを扱う論文も大いに歓迎される(例示であり、これらだけに限定されない)。

- ・ ラテンアメリカ域外の国家がラテンアメリカ全体、南米やカリブといったラテンアメリカ内のサブリージョン、あるいはラテンアメリカ内の特定の国家に対して取る外交政策。
- ・ 安全保障や貿易、海洋秩序、環境、移民・難民など特定のイシューに関するラテンアメリカ地域、あるいは域内の特定の国家に見られる特筆すべき対応。
- ・ ラテンアメリカ域内と域外に横断して展開される非国家的アクターやネットワーク、例えば宗教や人権など特定の価値を中心に形成される認識共同体、あるいは武器や麻薬な

どの商材を違法に扱う集団に関する分析。

- ・ 権威主義のタイプや民主化（あるいは非民主化）過程などの内政の静的・動的特徴、あるいは地方分権や治安対策など特定の政策分野に関するラテンアメリカ内外の国家の比較。

なお、ここで言う「ラテンアメリカ」とは、ロマンス諸語（スペイン語・ポルトガル語・フランス語）が主に話されている西半球の独立国家と独立国家でないカリブ海の行政区域（フランス領マルティニクなど）を指すこととする。

*

論文の執筆を希望される会員は、論文の仮タイトルと趣旨（600字~800字程度）を下記の編集責任者の連絡先までお送りください。締切りは2020年4月30日です。応募にあたっては、ご自宅とご勤務先・ご所属先の住所・電話/FAX番号、メールアドレスをお知らせください。検討のうえ、ご執筆願うことになった方には2020年5月31日までに編集責任者から連絡いたします。論文原稿の最終締め切りは2021年3月31日を予定しております。論文原稿の分量は註を含めて2万字以内です。査読のうえ、最終的な掲載の可否を決定いたします。本号の刊行は2021年11月を予定しています。執筆要領については、以下の学会ホームページをご参照ください。

<http://jair.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/documents/shippitsuyoryo.pdf>

お問い合わせ、お申し込みは下記までお願いいたします。

<編集責任者>宮地隆廣

<連絡先> 〒153-8902 東京都目黒区駒場 3-8-1 東京大学大学院総合文化研究科

Tel 03-5454-4494/ Fax 03-5454-4351

Email: miyachi★anthro.c.u-tokyo.ac.jp（★を@に置き換えてください）